

2026 年 10 月 1 日

報道関係各位

東京理科大学

工学部建築学科夜間主社会人コースで長期履修制度を導入 ～社会人のリカレント教育にも対応、多様なニーズに応えた環境整備へ～

東京理科大学では、理学部第二部で既に導入されている長期履修制度について、2027 年度から工学部建築学科夜間主社会人コース（2年次編入学）においても導入します。

大学院を対象とした長期履修制度の導入例は各大学に見られますが、本学では、学部段階の建築教育を夜間に提供する工学部建築学科夜間主社会人コースに同制度を導入します。これは、夜間教育により優秀な学生を輩出してきた本学ならではの特色ある施策となります。働きながら学びを継続できる環境の充実化により、社会人のリカレント教育をより一層推進していきます。

■ 長期履修制度とは

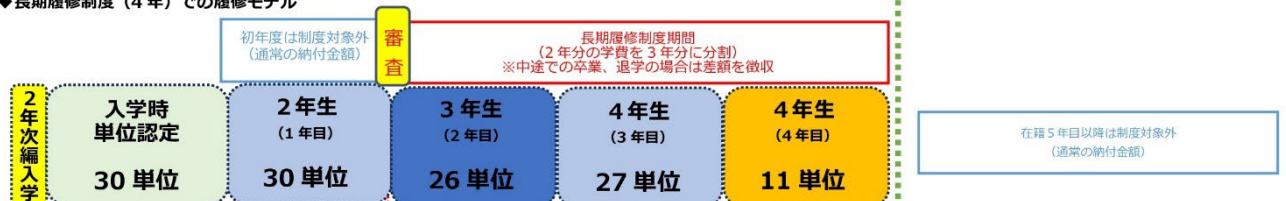
長期履修制度は、職業を有している等（育児・介護等を含む）の事情により、修業年限（3 年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出た時に、1 年延長（4 年）又は 2 年延長（5 年）を認めることができる制度です。

≪履修計画イメージ≫

◆ 修業年限（3 年）での履修モデル



◆ 長期履修制度（4 年）での履修モデル



◆ 長期履修制度（5 年）での履修モデル



■ 学部長からのコメント(植田 譲 学部長)

工学部では工学分野の研究者・技術者・設計者に求められる学識・技術・研究方法を修得すると同時に、学術的あるいは実務的課題を自ら発見・解決する能力を有し、社会に対する良識と責任意識を持つことができる人材の育成を目指しています。

今回の長期履修制度の、工学部建築学科夜間主社会人コース入学者への拡大は、業務等の都合で時間の確保が難しい方でも、計画的に4年または5年で卒業することを支援する仕組みです。日々の業務や社会生活の中で感じておられる課題を明らかにし、その解決策を提案できる能力を養うには、専門的な教育課程で体系的に学ぶことが重要です。建築学科 夜間主社会人コースで学ぶ皆さんが長期履修制度の活用により、ご自身の学修を少しでもフレキシブルに計画でき、確かな知識と能力を身につけ、社会を牽引していかれることを願っています。

■ 東京理科大学 工学部建築学科夜間主社会人コース 概要

工学部建築学科夜間主社会人コースでは、神楽坂キャンパスを拠点に、都心で働きながら建築学を学ぶことができます。最新の建築デザインに加え、成熟社会における膨大な既存建築ストックを対象とした耐震性・維持保全・都市防災に関する技術について、総合的なエンジニアリングを学べるカリキュラムを整えています。

本コースは社会人を対象とし、工学的な理論と情報基盤に基づき、安全で快適、かつ環境に配慮された美しい建築物と、その集合体としての都市を実現するための知識の修得を目的としています。

専門教育においては、建築学の分野を「設計・意匠計画」「環境・防災」「構造・材料・施工」の3領域に区分し、それぞれにおいて実践的・実務的な技術を教授します。さらに、これらを融合させた新たな応用学的カリキュラムも用意しており、総合的な建築能力の養成を図ります。

«お問い合わせ先»	
東京理科大学 経営企画部 広報課 koho@admin.tus.ac.jp	東京理科大学 葛飾統括部 工学事務課 k1@admin.tus.ac.jp